

『府庁舎建築二関スル書類』全 15 冊



『第1種 第二課文書類別・土木(共 15 冊ノ1~12)・府庁舎建築二関スル書類 ・1~12・
〈内務部第二課土木掛〉自明治 19 年至明治 28 年』(請求番号:621. B8. 1~15)

庁舎建設計画が始まった明治 19 年(1886)から、竣工後の明治 28 年(1895)までに作られた書類を「設計」「落成」「^{こいん}僱員進退」「復命」「照会」「物揚場使用」「工事費」「追加」に分類し、「工事費」の中は年度ごとに時系列で並べ^{へんてつ}編綴したものです。

書類は、主に、府庁舎建設を担当した東京府内務部第二課土木掛と設備(避雷針、暖房など)設計者・職工の雇用者・請負会社などとの間で交わしたものです。

府庁舎の設計から竣工までの流れ、当時の資材の入札方法や調達^{にんく}先、人工の積算方法がわかるなどと言った点でも興味深い資料です。